

地域との交流から 帯広国際センター・札幌国際センター

「土壌の診断と保全」コース入館式

5月12日(月)、帯広国際センターラウンジにおいて「土壌の診断と保全」コース研修員の入館式が行われた。職員、関係者がラウンジに集合しロビーから入場してくる研修員7名を拍手で迎えた。このコースは、5月11日から8月1日まで開設され、アフガニスタン、ブルキナ・ファソ、カンボジア、中華人民共和国、ハイチ、タジキスタン、タイ、ブータンの8カ国8名の研修員が参加する。

新井明男帯広国際センター所長からの「研修や各種事業を楽しむとともに、母国にしっかり技術を持ち帰り、伝えて欲しい」と歓迎の挨拶のあと研修員の紹介が行われた。続いて、「北海道・帯広の自然を満喫してください」と高橋幹夫館長からの挨拶、また、宮村睦夫「森の交流館・十勝」館長からは「帯広市として皆さんを歓迎します。交流館の利用などを通じてサポートしたい」と挨拶があり、研修員全員が自己紹介をした。

来日したばかりで、この入館式が初めての公式行事となった各

研修員は、入場時、緊張した面持ちだったが、進行とともに肩の力が抜け、最後の集合写真でニコリ、「はい、ポーズ」となった。この日は平成20年度の最初の入館式で、今後、各コースごとに実施する。



「土壌の診断と保全」コース研修員の入館式で
(5月12日 帯広国際センターラウンジ)



「第78回ロビーコンサート」開催

花笠音頭、どさんこ甚句、十勝小唄、鱒ヶ沢甚句、秋田大黒舞、秋田おばこ、チャグ・チャグ馬小唄、コキリコ節等々、当日のプログラムには馴染み深い民謡のタイトルが並んでいた。春まだ浅い去る3月7日(金)、ラウンジでは午後7時から恒例のロビーコンサートが開かれた。この日は、芽室嵐山民謡会(唯野義勝師匠ほかメンバー20名)が招かれ、研修員20名ほか市民などが演奏を楽しんだ。

40分間にわたって、合わせて11曲の日本民謡の舞踊、唄、演奏が同会のメンバーによって披露された。最初は日本民謡のゆっくりしたリズムに神妙に聞き入っていた研修員たちも次第に手拍子がわくようになり、最後の「津軽じょんがら節」では一堂拍手喝采となった。

演奏終了後、初めて三味線などの和楽器を手に触れた研修員に、民謡会の人たちが使い方を伝授、研修員も音を奏でて楽しんでいた。出演した子どもたちと記念撮影や歓談をしたり、ま

た自国の踊りを踊る人もあってコンサート終了後も和やか交流が見られた。



芽室嵐山民謡会による演奏



和楽器の演奏に挑戦する研修員たち



少女たちによる「花笠音頭」

札幌国際センター 「合気道教室」開催

年4回行われている研修員のための「合気道教室」の今年度第1回目が5月15日(木)午後7時から2時間にわたって、JICA札幌に隣接するリフレサポロ1階のライラックホールで開かれた。

この合気道教室は、北海道国際合気道協会札幌国際合気会の今村樹憲師範と妻倉美知代さんを講師に開かれている。同会によると、合気道は、植芝盛平開祖によって創始された武道で、その神髄は「合気道は愛なり」で表される。他人と強弱を争うものではなく他の武道と異なり試合が無い。究極を宇宙の根源の気とひとりひとりの人間の気が一体化、「合気」することに置き、人と人の気を和することも合気、愛気となると教えている。

この稽古では、動きが天と地、人との調和の姿がそのまま円転の動きにあらわれ、舞にも似た立ち居振る舞いになるそうですが、なにぶんにも合気道は初めての研修員たちにとってはそこまではいかず、師範との握手ひとつで床に転がされる、脚や肩の関節をヒョイとねじられるだけで組み伏せられてしまう。一見簡単そうにみえて熟達のワザを披露していた。

当夜は上下真っ白な稽古着に身を包んだ日系の女性研修員、

ウズベキスタン、キルギス、タジキスタン、カザフスタンのいかにも力自慢そうな研修員7名、そしてパプアニューギニアの研修員など14名が熟練の講師の動きに倣いながら、マット上で奮闘していた。



まず準備で体をほぐす



師範たちの動きに倣いながら受身

Culture Night "Aikido"
-The Japanese traditional martial art of defense and form-
Date : May 15th (Thur.)
Time : 19:00-21:00
Place : Lilac Hall, Rifuire

※Pick up an uniform @ the Rifuire's lobby at 18:55
Enrollment limit : 20 persons

Anyone can join!
For further information,
Contact Moriyasu in the JICA office. (ext. 691)

参加を呼びかける掲示



腕を締め上げて押さえ込むワザ。手本を示す今村師範